

平成14年度 総会

8月21日講演会の前に本年度近畿教育オーディオロジー研究協議会の総会が行われました。

総会は会長の奈良県立る

う学校長上村武先生の挨拶に始まり、事務局長からこれまでの活動についての説明がありました。続いて本年度の役員と今後の活動計画の

提案がなされ、承認されました。また、会計と監査の担当それぞれから昨年8月から今年7月までの会計報告と監査報告がありました。

第4回 講演会・講習会



8月21, 22日の2日間、毎年夏の恒例となりました講演会・講習会が大阪市内のホテルアウリーナ大阪と大阪府立生野聾学校を会場として開催されました。

1日目、午前中はアウリーナにて高知女子大学副学長吉野公喜先生にご講演いただきました。

「聴覚障害児の発達と教育の今日的課題」と題された講演では、自ら学び、発達する聴覚障害児を家族や教師はどのように支えていけばよ

いのかを中心にした内容で、聴覚障害児の発達を支える専門家として大切なことを聴覚障害児をとりまく環境、教育の課題を通して明らかにされていました。詳しくは年度末に発行予定の収録をご覧ください。

1日目の午後からは会場を大阪府立生野聾学校に移して講習会が始まりました。

午前中の講演会に引き続き吉野先生には、講座「脳で聴く～聴能、その不思議さに魅せられる～」を担当していただきました。非常に人気が高く、会場内の椅子を補充しなければならぬほどでした。

また、年々注目され参加者が増えている講座としては人工内耳、発音指導、聴覚学習、難聴学級の取り組みに関する講座がありました。人工内耳に関連した講座は3講座、基礎からリハビリ、事例報告と設けてあったのですがいずれも40名以上の参加があり講座の後も質問さ

れる方が多く、人工内耳への関心がこれまで以上に高まってきていると感じました。大阪大学の井脇先生と、今年度からは医誠会病院の角田先生に人工内耳の講座をお願いいたしました。

発音指導は学校現場などで年々指導できる教員が少なくなり、また発音指導を行う時数自体も減少傾向にあると言われていたのですが、発音指導の講座を設けて欲しいとの要望が毎年数多く寄せられており、「発音指導の基礎」と「発音指導の実際」の講座を、兵庫県立こばと聾学校の三木先生、石井先生をお願いいたしました。発音の仕組



み、指導法が目の前で見られるということでこちらも参加された方が非常に多かつ

たようです。

今年の特徴としては小学部の自立活動の講座への参加人数が急激に増えたことが挙げられます。

今年も大阪府立生野聾学校の藤原先生に入っていた

いただきましたが、個別指導計画をどのように作成し、評価するのか、戸惑いと期待が会場から感じられました。参加された方々の中で資料作成して持ってきていただいた先生ありがとうございました。

今年の講演会・講習会には連日200名以上の参加がありました。会場をお貸しくださいました大阪府立生野聾学校の皆様には期間中たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

講演会・講習会アンケートから

アンケートで寄せられましたご意見、ご感想を紹介します。(一部です。)

〈講演について〉

- ・今後のろう学校が目指すものは何か、答えが出る内容で良かったです。
- ・ゆっくり詳しく聞きたかったです。心に残るお話でしたので。
- ・聴覚障害児の立場に立った見方、捉え方が感じられ、共感できる内容でした。

〈講習会について〉

- ・基礎的な内容から具体的事例まで聞くことができ有意義なものばかりでした。
- ・講座を選択できるこの形式が良いなあと思いました。
- ・同じ時間帯に行きたいところ多く迷った。要項に詳しく細かく内容を書いてもらえないか。
- ・どれも時間が足りなくて残念でした。

〈全体を通して〉

- ・生野聾学校の施設、設備がすばらしく、その中で研修ができて良かったです。
- ・冷たいお茶がうれしかったです。

この他、来年度の講演会・講習会に向けて貴重なご意見を多数頂戴いたしました。今後の活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

今後の活動計画

11月2日 秋の講演会 講師 中村公枝先生 国立リハビリテーションセンター学院教官
「聴覚障害幼児の療育について～聴覚活用とコミュニケーション～」
場所 味覚糖UHA館(大阪市中央区神崎町4-12)
時間 13:30～16:30
会員無料 先着100名 締切10月25日 詳細は別紙案内をご覧ください。

1月17日 第3回 代表委員会(京都府立聾学校)

1月18日 冬の学習会 京都聴覚障害教育研究会、京都補聴器販売店協会と共催
場所:京都テルサ 講師:未定

2月 機関紙8号発行(秋・冬の学習会の報告)

3月末 収録第5号発行

近畿教育オーディオロジー研究協議会のホームページ

<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/non007/>

各地の研修会など情報をお寄せください

新役員の紹介 (総会資料より)

会長	校長会代表	上村 武	奈良県立ろう学校
事務局役員	事務局長	中井 弘征	奈良県立ろう学校
	事務局次長	本庄 良一	京都府立山城高等学校
	〃	中瀬 浩一	大阪市立聾学校
	会計	柳田 智子	奈良県立ろう学校
	機関誌	村尾 敏則	滋賀県立聾話学校
	ホームページ	細矢 義伸	京都府立聾学校

代表委員 (聾学校)

滋賀県立聾話学校	高阪 圭祐	兵庫県立神戸聾学校	大谷 淳子
京都府立聾学校	斎藤 正典	兵庫県立姫路聾学校	菅原 正広
京都府立聾学校舞鶴分校	芦田 雅哉	兵庫県立こばと聾学校	緒方 順子
大阪府立生野聾学校	牧 浩子	兵庫県立豊岡聾学校	松本 茂樹
大阪府立生野高等聾学校	栗田 悦子	兵庫県立淡路聾学校	大西 政男
大阪府立堺聾学校	奥 ルリ子	大阪市立聾学校	松浦 友紀
和歌山県立和歌山ろう学校	内門 祐	奈良県立ろう学校	山根 久明

代表委員 (各府県)

京都府 高井 小織	京都市立二条中学校	兵庫県 杉本 浩	伊丹市立伊丹小学校
大阪府 足立 貢	大阪市立泉尾北小学校	和歌山県 平野 真理	橋本市立橋本小学校
奈良県 梅村 健悟	奈良市立椿井小学校	滋賀県 未 定	

滋賀県の代表委員になってくださる方を募集しております。
 お問い合わせは滋賀県立聾話学校 聴力検査室
 電話077-552-1352 担当 村尾までお願いいたします。

新企画 読んでみました

このコーナーでは機関紙担当の村尾が実際に購入した本の中から教育オーディオロジーに関連した内容の本を紹介します。講習会のアンケートでもお奨め本を紹介してほしいとの声がいくつか寄せられておりましたので、今回は一挙3冊の紹介です。

聴覚障害児の残存聴力活用

須藤貢明 濱田豊彦 荒木紫乃 著
 教育出版 2800円
 ISBN4-316-33770-X



音ときこえのしくみ、各種聴力検査、補聴器に関して基本から分かりやすく解説。教育オーディオロジーにマッチした内容。

後半には残存聴力活用に関する研究が書かれている。

耳科学 - 難聴に挑む

鈴木淳一 小林武夫 著
 中公新書 760円
 ISBN4-12-101598-3



安くて小さいが中身は非常に濃い。耳のしくみから福祉に関することまで網羅されており、この本を読んでから他の専門書を読むと理解しやすい。

初級から上級までどなたにもお奨め。

小児人工内耳

本庄巖 編著
 金原出版 4300円
 ISBN4-307-37063-5



人工内耳でも特に小児に関する本。手術からリハビリ、検査、教育機関の連携など詳しく書かれている。講習会スタッフの井脇先生も執筆者の一人。最近発行されたばかりで最新の内容。

先生も執筆者の一人。最近発行されたばかりで最新の内容。

第4回講演会・講習会の様子

2日間の様子を写真でご覧ください。



総会・講演会の受け付けです。
ご来場ありがとうございました。



講習会会場では、生野聾学校校長の
山下先生からご挨拶をいただきました。



2日連続の講座 実習形式の
「教育オーディオロジーの基礎」



会場はどこも大いに盛り上がっていました。

近畿教育オーディオロジー研究協議会

奈良県立ろう学校内

近畿教育オーディオロジー

研究協議会事務局

奈良県大和郡山市丹後庄町456

事務局長 中井 弘征

TEL 0743-56-2921

FAX 0743-56-8833

メール h-nakai@indigo.plala.or.jp



近畿教育オーディオロジー研究協議会ニュースへ 情報をお寄せください

近畿教育オーディオロジー研究協議会 機関誌担当

宛先 〒520-3014

滋賀県栗東市川辺664 滋賀県立聾話学校 聴力検査室 村尾 敏則

TEL 077-552-1352 (聴力検査室直通) FAX 077-554-1538

Eメール JZJ02634@nifty.ne.jp

新しい企画を考えております

採り上げてほしい記事、ご意見、ご感想をお寄せください。